

# 藻場増殖礁を核とした対馬市での藻場造成 豊かな森が豊かな海をつくる ヤマネコの住む森づくり



住友大阪セメント(株) (株)SNC

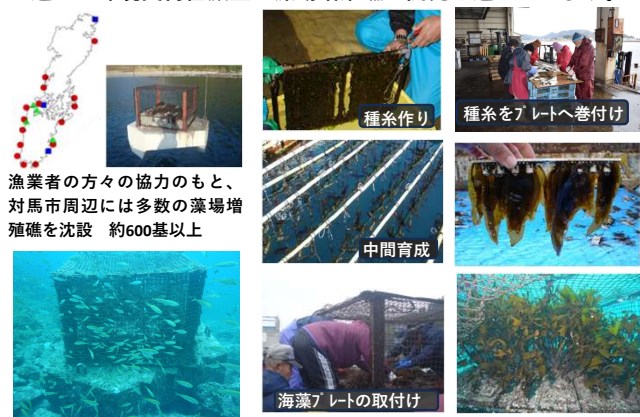
発表者:(株)SNC 二川敏明 遠藤和教

## 要約

30年以上 対馬の海で取り組んできた藻場造成も、海水温の上昇という環境変化のなか様々な新たな取り組みを実施しています。また CO<sub>2</sub>削減、海洋生分解性プラスチック適用、水中ドローン活用等環境負荷低減の取り組みも研究開発中です。「豊かな海は豊かな森から」を合言葉にツシマヤマネコの住む森づくりの活動もご紹介いたします。

## 1.研究の目的と背景

近年 対馬沿岸では磯焼け問題がクローズアップされています。住友大阪セメント(株)では、顕著な磯焼けが始まる前から漁業者の皆様と一緒に藻場増殖礁を核とした藻場造成による豊かな海づくりに取り組んできた30年あまりの実績があります。その中で地球温暖化による海水温の上昇、海藻を餌とする藻食性魚類の増加といった環境変化に対応する藻場増殖礁の開発とさらに一歩踏み込んだ環境負荷低減型の藻場増殖礁の開発を進めています。



## 4.ヤマネコの住む森づくり 「豊かな森が豊かな海をつくる」



## 2.研究結果



## 3.さらなるステップアップ



## 5.対馬の未来に向けて



広報つしま 2025.8より

## 住友大阪セメントの生物多様性保全

目指す姿  
生物多様性の保全 = 環境解決企業



「豊かな森が豊かな海をつくる」 住友大阪セメント(株)が対馬と長年継続している磯焼け問題に対峙する藻場増殖礁の事業や、舟志の森におけるツシマヤマネコ保護活動が、環境解決企業としての生物多様性の保全に貢献するとともに、さらなるカーボンニュートラルに適合した藻場増殖礁「藻場王」の展開により、対馬の未来に向けての環境支援を今後も継続していきたいと考えます。